

進級に向けた準備を

アメリカの大統領にトランプ氏が就任しました。当初の予想に反しての当選でした。今後のアメリカ国内の問題だけではなく、世界にとってどのような影響を及ぼしていくのかとても気になります。皆さんはどのくらいの関心を持っていますか？社会人になるまでそう遠くありません。社会情勢により、今後の生活状況・雇用環境も常に変化をしていきます。様々なことにアンテナを張っていくことも必要になってきます。新聞は見ていますか？政治や経済のニュースも是非読んでください。最初はわからない記事でも、読んでいる間にいろいろなことがわかってきます。ちょっとしたことがわかると読むことが少しずつ楽しくなってきますよ。

さて、1～3月は、学校行事は少なく、1学年のまとめの時期であり、意識も少しずつ次年度へ向かい始めます。多くの学校では2年生0学期と銘打って、2年生に向けて早々とスタートを切っています。「2年生になったら頑張ろうかなー」とか「具体的な進路目標もないしなー」という人は、スタートを先送りしているだけで、4月から何をどう頑張るのか、具体的に考えられていないことが多いのです。では、そう考えている人はどうすればよいのでしょうか。いくつか改善策を紹介します。

進学目標校がある人は、その学校のパンフレットや写真を自分の机に置いて、進学した自分の姿を想像することが有効です。どうしてもここにいきたい！この欲求が自分を動かす最大のモチベーションです。実際、目標達成に向けてすでに取り組んでいる人もいます。やはりそのような人はやる気に満ち溢れ、日々の生活も充実しています。まだ目標校が定まっていない人は総合の時間で学部・学科研究を行います。自分の興味・関心のあるものから探し出してみてください。

進学目標がまだまだ曖昧な人は、「1年生最後の1か月の目標」を宣言することも有効です。テストの成績や自宅学習時間など、最後の1か月でチャレンジしたい目標を宣言し、「今」をより前向きな気持ちで過ごせるよう、モチベーションを高める工夫をすると良いです。

とにかくこの時期は、「今、この時点から何か小さなことを1つでもいいから頑張り始めよう」と意識を変えることが大切です。その意識改革ができなければ、結果的に4月のスタートもつまづいてしまいます。

慶応大学



早稲田大学



金沢大学



学部学科研究⑤

紛らわしい学部・学科について

(名前や内容がよく似ているため、違いがよくわからない学部・学科)

『経済学部と経営・商学部の違い』

- 経済学部 … 国や国際的な目で、お金やモノの流れを見る学問。
 ・TPPのように、国や国際的な目で、お金やモノの流れを見る学問。
 ・個々の企業や人に目を向けるよりは、全体像を数字で捉えていく。
 ・トップクラスの大学では数学が武器になる。
- 経営・商学部 … 企業や個人の目で、お金やモノの流れを見る学問。
 ・会社、商店、個人(家計)の視点からお金やモノの動きを研究する。
 ・例えばコンビニエンスストアの設計のような課題も扱います。

『理学部と工学部と理工学部の違い』

- 理学部 ・高校の教科である「物理」「化学」「数学」「生物」「地学」の延長線上で高度な研究を行う。
 ・お金を生む技術になるかを度外視して、学問発達のための「基礎研究」を行います。
- 工学部 ・(物理や化学を土台にしながらも)モノづくりに生かせる形の実践的な技術を身につける。
 ・学問色が強い理学部に比べると、実用性が高く就職は有利である。
- 理工学部 ・理学系、工学系の両学科を設定し、研究も双方にまたがっている。

『四年制大学の看護学科と短大・専門学校の看護学科の違い』

- ・卒業時に看護師の国家試験の受験資格が得られる点は共通
- ・大学の看護学科
看護と保健の両分野でリーダーとなりうる人材養成を目的としている。知識・技術はもちろん人格形成の面にもウエイトが置かれている。

◎2月の予定

【校内実力テスト】

2月2日(木)3日(金)国語・英語・数学・現社・理科の5教科で実施します。1年間の総復習のテストです。しっかり復習して臨んでください。

【土曜補習】

2月18日(土)午前国数英と到達度試験(英語)を実施します。

【学年末考査】

2月22日(水)～2月28日(火)の5日間で行われます。

科目数は

- ・コミュ英・英表・国現・国古・数I・数A
- ・化基・地基・現社・社情・保健・家庭 の12科目となります。

2月	
日	曜
1	水
2	木
3	金
4	土
5	日
6	月
7	火
8	水
9	木
10	金
11	土
12	日
13	月
14	火
15	水
16	木
17	金
18	土
19	日
20	月
21	火
22	水
23	木
24	金
25	土
26	日
27	月
28	火

《2年0学期②》

◆校内模試・学年末考査を利用し成績層別に適切な学習への取り組み方を認識する。

上位者
自主的学習へ移行
問題集応用レベルの習得

中位者
苦手科目の克服
問題集標準レベルの習得

下位者
基礎学力の充実
教科書レベルの習得